

保険義歯から一般金属床までのMetalworking ～精度と効率を考える～

近年新しい素材や技術の確立に伴ってインプラントやメタルフリーデンチャーが注目を浴びています。しかしながら費用の面や咀嚼効率を考えた場合、依然として金属クラスプを使用したデンチャーの需要には高いものがあります。

その際問題となってくるのが保険のデンチャーの場合クラスプのずれや不適合、金属床義歯の場合作業の煩雑さであったり適合の難しさではないでしょうか。

そこで今回、抜き取り法による高精度のクラスプから、強度を確保しながらも薄く見える金属床フレームをデモを通してご覧いただきながら、よりスピーディーでより高精度のMetalworkの道を探っていきたいと思います。